

## 幼稚園との連携

家庭科の「家庭基礎」という科目の中に「人の一生と家族・家庭及び福祉」という内容があり、その中の項目に「子供の生活と保育」があります。「子供の生活と保育」の中では「乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育～中略～について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けること。」とされています。学習指導要領解説ではこの基礎的な技能については**乳幼児との触れ合いや交流、保育者が乳幼児と関わる姿の観察など、実践的・体験的な学習活動を通して身に付けることができるようにする**とあります。

本校では**同じ尼崎市立の塚口幼稚園と連携**し、5月26日（金）に園児たちに来校してもらうことで、生徒が実際に幼児とふれあいながら、幼児の発達特性や身体特性、幼稚園の先生の園児との関わり方を直接、間近で感じることができ、大変**貴重な学びの場**となりました。

今後とも、このように地域の幼稚園や小学校、中学校と連携し、**実践的・体験的な学習活動を通して、様々な生きて働く力を身に付けてもらいたい**と思います。

（※末尾に塚口幼稚園のHPを掲載させてもらってます）











## 生徒の感想

### <園児との交流>

- ・最初から終わりまでずっと笑顔で、私が笑顔で話しかけると、すごく嬉しそうにしてくれました。話すのが上手な子で幼稚園の話や、家族の話聞かせてくれて楽しい時間でした。
- ・はじめは緊張しているように見えたけど質問を投げかけたり、「これやろう!」と積極的に話しかけると、楽しそうに遊んだり、逆に「お家どこなの?」と質問してくれたりした。

### <幼稚園の先生から学んだこと>

- ・声がかきかきしいて聞き取りやすいなと感じました。子どもに伝わりやすい口調だったりして、とても工夫されていました。できたところをしっかりと褒めてあげたり、だめだったところを優しく教えたりされていて、本当に教科書のポイント通りの接し方ですごくと思いました。
- ・子供の目線に合わせて、ゆっくり大きな声で話していた。遊ぶ時も全てを先生がするのではなく、横から見ていて困ったときに助けていた。
- ・話すときには身振り、手ぶりを加えて子供たちが理解しやすいように話していた。
- ・子どもたちと一緒に遊ぶこともしていたけれど、広い視野で子供たちを見守り、一人の子がいないか、危険なことをしていないかと子どもたちのことを一番に考えて見守っていらっしやった。
- ・いけない事をした子には、しっかりと叱り、何がいけなくて、どうしてほしかったかを伝えていた。
- ・人見知りをする子たちと一緒に行動し、私たち高校生と関われるように自然と声をかけ、少しずつ遠くに行ってみ守ってくれました。
- ・お茶タイムなど健康にも気を配っていた。



# つかぐちようちえんの いま!



## 市立尼崎高校ビーチバレーコート!



### 「また、行きたいな!」

25日、市立尼崎高校のビーチバレーコートで、高校生のお兄さん、お姉さんと一緒に遊ばせていただきました! 園庭の砂や土とは違う感触に「足の裏がこそばい!」「柔らかいなあ!」と話していた子ども達。寝っ転がって手足を存分に伸ばして「気持ちいい!」と砂の感触を体全体で感じる姿もありました。

お兄さん達と砂の上を走ったり、水を使って山やだんご、川をつくったりして遊び、遊び終わりに「もう終わり?」と残念そうな子ども達でした。最後にお礼を言って帰る時には「また来るよ!」と約束する姿も!

高校生の皆さん、一緒に遊んでくださり、楽しい時間を過ごさせていただき、ありがとうございました。

